

(2) 目的別観光入込客数の内訳

- 宿泊施設や道の駅等の「その他」が全体の26.1%を占め、最も多い。集客が好調な道の駅と宿泊客数の増加が要因と考えられる。なお、歴史や博物館・美術館等の「歴史・文化」も好調で全体の26.0%を占めている。
- 対前年比では、「その他」と「スポーツ・レクリエーション」の伸びが大きくなった。

表2 目的別内訳

※一部の観光地点で分類整理を行った影響も要因のひとつである。

目 的		延観光入込客数 (千人)	比率	対前年比	前年延観光入込客数 (千人)
観 光 地 点	自然	1,424	3.1%	▲31.3%	2,074
	歴史・文化	12,023	26.0%	5.9%	11,353
	温泉・健康	2,310	5.0%	4.6%	2,208
	スポーツ・レクリエーション	10,404	22.5%	13.6%	9,160
	都市型観光 (買物・食等)	4,258	9.2%	▲31.1%	6,177
	その他	12,113	26.1%	16.6%	10,390
行祭事・イベント		3,797	8.2%	▲1.8%	3,867
合 計		46,329	100.0%	2.4%	45,227

(注意) 端数の関係上、合計と一致しないことがある。

グラフ2 目的別内訳

